



海の星

浜松海の星高等学校通信 2015年度 No. 8

H27. 10. 30 発行

★ 人間になるため

学校長 高橋 美智子

「シスター、久しぶり！」と大喜びで近づいてくる若い女性。嬉しくなって互いにハグ！彼女はフィリピンで看護師として病院で働いていました。日本での資格は通用せず、介護士の免許を取って働き続けています。丁寧な言動、温かい眼差しは、彼女が育ってきた環境、また、彼女が生きてきた道程で何を選んできたかを物語ってくれます。

10月の3年生のチャペルアワーで司教様が話してくださった「人間になるため」のお話は、私にとってあらゆる所で息づいています。振り返ってみると、順境のときよりも逆境のときの方が、人間に与えられるパワーが強いように思います。

今日も、怖れずに、「人間になるため」に生きていきましょう。

★ 2年生修学旅行の報告 一10月5日(月)～10月9日(金) 4泊5日 沖縄平和学習一

今年から行程が一泊増えて目的地も沖縄になりました。人気のある地域でもあり生徒たちは皆楽しみにしていた今回の旅行でした。沖縄というと青い空や海、白い砂浜という南国のリゾート地というイメージが先行しますが、実際は太平洋戦争末期の激戦地であることと、戦後70年経った今でも米軍の基地が数多く存在しているという問題を抱えている地もあります。実際、高速道路から青い海が見えたと思えば、その反対側には基地が延々と続く光景が目に入りました。戦争のビデオを鑑賞したり資料を集めて事前学習はしていましたが、戦跡や壕での現地の人々の話は私たちの想像をはるかに超えた悲惨な内容でした。資料館での講演者の話も生徒たちは皆熱心に聞いてくれてあらためて平和の大切さを感じてくれたと思います。後半はタクシー研修で観光地やお店を廻ったり、翌日は終日体験学習をして沖縄の自然に触れることもできました。誰もが沖縄旅行に満足して帰途につきました。



★ 1・3年生チャペルアワーの報告 一10月8日(木)一

1年生は中区富塚町にあるカトリック浜松教会を訪問し、聖堂や信徒会館、司牧センター、ルルドの聖母像等の各施設をまわるツアーに参加するとともに、聖フランシスコに関する映画を一部鑑賞し、厳かな雰囲気のなかでキリスト教のもつ世界観を味わいました。また3年生はカトリック高松教区の諫訪榮治郎司教による講話を聞くことができ、自分自身を深く見つめ直す1日となりました。



★ 第2回生徒面談週間について 一10月30日(金)～11月6日(金)一

中間試験の結果をふまえて、放課後に生徒個人と担任との二者面談を実施しています。



★ 合唱コンクールのご案内 一11月7日(土) 9:30～ 本校体育館にて
今年は「感銘度」を評価基準として、理事長・校長・副校長・教頭・各学年主任による審査が行われます。
生徒たちが互いに協力し、積み重ねてきた練習の成果をぜひお聴きください。



合唱プログラム 8:45～準備・練習／9:30～開会式／11:50～閉会式・審査講評(予定)

	No.	クラス	演奏曲目(自由曲)	指揮者	伴奏者
[前半] 9:35～	1	3U	Haru Hana	池田 楓	川合望実
	2	1T	ちっぽけな愛のうた	片山美帆	石野由華
	3	1M	YUME 日和	—	—
	4	2M	にじいろ	古山莉子	池田佳菜子
	5	2T	美女と野獣	夏目梨央	古橋朋奈
	6	1R	COSMOS	増井あみ	渥美杏奈
	7	1K	ふるさと	小田木理那	袴田真由
	8	1U	聞こえる	鈴木悠里	藤田莉茉
[後半]	9	2R	ヘイル・ホーリー・クイーン	熊谷礼	横山葉璽奈
	10	3K	心の瞳	岩田知夏	松本弥津希
	11	2K	夜明け	松本莉奈	今泉里菜
	12	3M	今、咲き誇る花たちよ	安藤日向子	岡島真実
	13	3T	あなたへ ～株立ちに寄せるメッセージ～ (合唱組曲「時の女神」より)	武山夕莉	堀内風奈
	14	2U	HEIWA の鐘	荻々佳里	鈴木彩夏
	15	3R	希望	佐藤真夕	大島菜帆
合唱部発表					

★ 11月の行事予定

2	月	読書週間	面談週間(45分短縮授業～6(金))	13	金	物故者追悼式
3	火	【文化の日】 進研駿台マーク模試(3年生特進コース+希望者) 進研模試(1・2年生特進コース+希望者)		17	火	[LHR]静岡県立大学高大連携講座 (1・2年生特進コース)
		2年生チャペルアワー [放課後]南山大学特別講義 (1・2年生特進コース+希望者)		20	金	
6	金	日本語検定				
7	土	[AM]合唱コンクール		21	土	授業日 中学生対象秋のオープンスクール [PM]勉強自主トレ(1・2年生特進コース)
8	日	第2回英語検定(2次)				
10	火	[LHR]分野別ガイダンス(1・2年生総合コース) 立ち居振る舞い講座(3年生)		23	月	【勤労感謝の日】
		25		水		《全校集会》
11	水	《学年集会》		28	土	歴史能力検定

※2年生対象チャペルアワーについて 一11月20日(金) 全日一

「私と神様と私たち」：カトリック百合ヶ丘教会(横浜教区)主任司祭 鈴木真神父の講話



担当者からのメッセージ



●生徒部より 一マナーについてー

生徒部長 鬼石勇樹

先日、外部の方から1通のメールを頂きました。その内容は「本校近くのコンビニエンスストアで、制服姿の本校生徒4～5名が店内の床に鞄を置き、スマートフォンで撮影し（いわゆる自撮り）騒いでいたので迷惑でした」という内容でした。メールを頂いたその日に、各クラスでは担任から生徒に対して注意喚起をしました。また、先週の中間試験期間には不審者監視も含めて、帰りのバス停指導を強化しました。試験期間で部活動が無いためバス停利用者が同時間帯に集中したこともあり、バス停付近の歩道は本校生徒で溢れてしまい他の歩行者の邪魔になるような場面も見られました。その原因の1つが、スマートフォンです。ほとんどの生徒が、バス停でスマートフォンを操作はじめ、周りに気を配ることを忘れてしまうのです。コンビニでもバス停でも周囲に気配りができればすぐに改善される問題です。

保護者の皆様は、「他人に迷惑をかけてはいけません」と幼かったご息女を諭したご経験があると思いますが、最近はいかがでしょうか？マナーとは、強制されるものではなく、社会の秩序を保ち快適な生活を実現するための周囲への思いやりや心遣いです。本校生徒には、校内外問わず、時と場所を共有するみんなが気持ちよく毎日を過ごせるように、行動してほしいと思います。ぜひ、ご家庭でもマナーについてお話しして頂けるようお願いいたします。

●進路部より

進路部長 清水明子

3年生の保護者の皆様へ。大学や短期大学の推薦試験が始まりました。学校では、希望の出された生徒に対し、面接・小論文指導を行っているところです。ご家庭においてもご息女をご覧になっていただき、壁にぶつかっているようでしたら、援助をしていただくようお願いいたします。一般受験を考えているご息女は、推薦試験受験者の合否結果を見聞きするにつけて平常心を失うことがあるかもしれません。ご家庭では、明るい雰囲気作りを心掛け、安心して勉強できる環境を整えていただくようお願いいたします。

入試において、残念ながら不合格の通知を受け取り、心を痛めているご息女もいると思います。昨年度の卒業生の中には、この辛い体験を乗り越え、次の推薦入試や一般入試で難関大学の合格を手にした者があります。気持ちをしっかりと切り替えて再挑戦して欲しいと願っております。ご相談等ございましたら、担任または進路部に気軽にご連絡ください。

就職試験につきましては、希望者11人中10人が内定を得ました。残る1人につきましても全力でサポートしてまいります。ご家庭でも焦ることなくご息女を見守っていただきたいと思っております。

2年生の保護者の皆様へ。11月上旬に「進路計画（東海版）」という小冊子を配布します。学費助成制度、奨学金・特待生制度、学部・学科別学費などが載っております。ご息女の志望校が記載されているとは限りませんが、進路選択の参考になさってください。

“海の星のクリスマス2015”の前売り券は、
学校HPからもご予約いただけます。

TEL : (053) 454-5376 FAX : (053) 453-4719
学校ホームページ <http://www.umino-hoshi-h.ed.jp/>

●TO1学年

1学年主任 鈴木富美子

今年のノーベル平和賞はチュニジアの「国民対話カルテット」という団体に贈されました。2011年の独裁政権崩壊後、対立する勢力同士が粘り強く話し合いを続け、多元的な民主を作り上げるのに決定的な貢献をしたことが授賞理由だそうです。「武力衝突よりも対話の方が争いを解決できると証明した」と話すチュニジア市民の誇らしげな顔と共に国を挙げて喜ぶ様子が報道されました。

9月中旬、浜松でワールドカップが開催された折にバレーボールを学生時代にやっていた縁もあって広報部署のお手伝いに行きました。初日、世界ランク15位のアフリカ代表チュニジアは3位のポーランドに完敗でした。試合後の両チームによる記者会見上での出来事がとても印象に残り、今回の受賞と重なりました。勝ったポーランドの監督・選手はどういう訳か不機嫌で、チュニジアチームに対して失礼ともとれる発言が続きました。チュニジアの監督は、終始笑顔で相手チームを称え、力不足の自分たちが大会に参加できることを感謝し、記者たちにもユーモアを交えて丁寧に対応していました。会見場にいた誰もが、チュニジアチームを応援したくなつたと思います。2メートル近くの長身で一見強面の選手たちですが、行き会った時に「Nice Day！」と声をかければ微笑と共に「You, too!」と返ってきます。見知らぬ人でもアイコンタクトをとり、相手を認める文化があるのだとあらためて感じました。このコミュニケーション能力の高さこそが、民主的な形で新しい政府を作る要因のひとつだったのかもしれません。東京オリンピックが開催される2020年、二十歳を迎えるあなたたちにもぜひTPOに合わせて誰とでも気持ちのよいコミュニケーションが取れる人になってほしいと願っています。

●TO2学年

2学年主任 砂子幸弘

今回の沖縄修学旅行では地元の富士山静岡空港を利用しました。空港というと、国内線や国際線搭乗口があり華やかで、国籍を問わず多くの旅行客でごったがえしているというイメージです。でもこの空港は航空便も少なく非常にのんびりした雰囲気で、普通なら通行人のじやまになってしまふ入り口付近で、学年全体を集めて説明をすることもできました。空港内も非常にわかりやすく、ほとんどが初めて飛行機に乗る生徒たちにとってはカウンターでの荷物預かり手続きも順調にいきました。機内は想像以上に狭く新幹線よりずっと窮屈感を味わいました。動き出すと彼女たちは騒ぎだして離陸寸前には悲鳴が上がり飛び立てたら拍手ができるなど、飛行機を利用する時はいつものことながら引率としてとても恥ずかしい思いをしてしまいます。浜松からあまり出たこともない者も多いため無理もないことでもあります。そのような経験を積み重ねて生徒の見聞も広がっていくのだなあと感じました。

●TO3学年

3学年主任 中村隆之

10月8日に終日で「チャペルアワー」が行われました。昨年までは「黙想会」と呼んでいた宗教行事です。聖歌を歌い、神父様のお話を聴き、聖書を読み、祈りを捧げました。

神父様の講話はどれも興味深いものでしたが、特に私の心に残ったのは「紙コップと湯飲み茶碗」のお話でした。人間関係でも「紙コップ」のように利便性を第一に考え、自分に益をもたらしてくれる相手、所謂「使える相手」との絆を重視し、相手がもはや不必要になると簡単にポイ捨てしてはいないでしょうかというお話です。

「物事がうまくいっている時には多くの人が自分の周りに集まつくるが、不利な状況に陥ると、一変して蜘蛛の子を散らすように逃げていく」という話をよく耳にします。まさに損得勘定で成り立っている「計算高い人間関係」なのでしょう。これが世の常でしょうが、分け隔てなく何の見返りも期待せずに自分の隣人を「湯飲み茶碗」として大切に扱うことの大切さを改めて痛感した次第です。